

平成 19 年度(2007 年度) 第 2 回 池田市立図書館協議会会議録要録

日時：平成 19 年 12 月 2 日(日) 16 時～18 時

場所：池田市立図書館 2 階会議室

出席者：(委員)たつみ会長、丸山副会長、松本委員、有吉委員、吉永委員、富阪委員、村上委員、
雨堤委員、楢野委員
(事務局)田淵教育部長、長森図書館長、他図書館員 4 名

傍聴者：なし

<次第>

議 題 1. 池田市における図書館のあり方について
2. 「図書館の愛称募集」に伴う愛称決定について
3. 図書館まつりについて
4. その他

配布資料 1. 『広報いけだ 2008 年 1 月号』特集記事：「図書館、ただ今、変身中！」
2. 図書館を再発見するためのアンケート（2007 年 11 月実施）
3. 図書館愛称アンケート結果報告
4. 図書館まつり・オープンカフェ収支決算報告
5. 図書館職員研究会中間報告
6. 平成 18 年度第 2 回図書館協議会会議録（19.3.17 開催）
平成 19 年度第 1 回図書館協議会会議録（19.7.21 開催）
7. 新・図書館利用案内、いけだの本棚 12 月号

会長：おはようございます。平成 19 年度第 2 回図書館協議会を開催いたします。まず、館長の方から今までの報告等についてお願いします。

<長森館長より報告>

石橋プラザの休館日削減(平成 20 年 1 月より) / 『広報いけだ 2008 年 1 月号』特集記事掲載(「図書館、ただ今、変身中!」) / コンピュータの更新 / 館内の設備改善(照明器具取替、キッズコーナー設置) / 移動図書館の巡回の見直し(学校への巡回) / 利用状況 等

会長：では、本日の議題「池田における図書館のあり方」に移ります。現在の協議会委員の任期終了(20 年 10 月)まで、会議開催回数は今日を含め 4 回です。その間で図書館の方向性についてある程度の形にまとめる必要がある訳ですが、今後どのような方向に向かって集約していくか、ご意見をお伺いします。

委員：これまでに話し合ってきたことについて、いくつかのテーマに分けて作る準備を進めていってはどうですか。

会長： 図書館職員研究会の中間報告は協議会分科会でまとめたことが反映されていますか。

事務局： ご覧いただいていると思いますが、大いに反映していると思います。

委員： 図書館職員の研究会の報告を元に協議会へ諮問されたと受け止め、協議会でまとめていくということによいのですね。

事務局： 職員研究会の中間報告は、図書館員の立場でまとめたものですので、たたき台にしているのはよいのですが、外部の一般市民から見た図書館のあり方というものも求めています。

委員： 図書館職員の報告に、ビジョン、図書館の使命、つまりどういうものを目指すかというものを先ず最初に提示する必要がありますね。理想があり、その理想を実現するためにどういうことを進めていくかをまとめるべきです。

委員： 市民として自由な意見を言える立場にありますが、大きな夢のあるビジョンを掲げたものにしてもらいたいですね。

委員： 長期計画に向けて、まずはガイドラインが必要であり、それから実現に向けての短期 中期 長期計画があるべきでしょうね。それから、大きなテーマは掲げつつも、実際には行政の判断を仰がねばならないことでしょうし、実際にできること、改善できることを具体的に提言していくということですね。

委員： 具体的な改善点が書かれている一方で、将来構想として課題解決型図書館、生活支援型図書館を挙げていますね。池田市ではどのようにして具体的に実現していこうとしているのかということでしょうか、滞在型図書館とか、地域との連携とか、それらが課題解決型、生活支援型と謳われている図書館のどういう要素となっていくのか、もっと具体的にどういう施策を統合することによって全体構想を見通せるのか検討が必要ではないですか。

委員： 今までいろいろ議論をしたわけですが、ひとつには課題解決・生活支援や学習支援の機能、もうひとつは、集いの場、安らぎの場として図書館を捉えて考えるということになり、分科会を立ち上げて話し合ってきたわけですね。今後はそれをどのようにまとめていくかということです。私たちとしてはやはり先ずビジョンがあり、逆算して、長期・中期・短期の計画がある。が、図書館は日常業務に携わっている中から、短期 中期 長期計画と考えるわけでしょうし、われわれの考えと図書館職員が考えていることを重ね合わせてまとめていかないといけないのではないのでしょうか。

委員： 理想としてこういう図書館を創りたい、その理想を具体化していくため今、何ができるかその方法、その両方で意見をすり合わせてまとめていくということでしょう。

委員： 図書館から中間報告を出してもらっていますが、図書館の将来構想というものは、図書館単体の話ではありません。市全体総合計画の中で、また教育委員会の構想の中で図書館(施策)がどれだけの位置づけをもっているかということも含めた計画を提示する必要があります。また、この将来構想は各項目が羅列的に並んでいるが、「市民に役立つ図書館」という将来構想が基本にあって、各項目がどういうふうに通合化されていくのか、実現に向けてどういう施策

が必要か、その施策を行なうことにより、結果としてどれだけ市民に役立つ図書館になるのかを示す必要があります。それは図書館から提出していただいた上で、市民サイドに立った議論も出来、協議会の答申が可能なのだと思います。

委員： 広報のこの特集記事は今後の図書館のあり方をわかり易く書いてあるんですね。

会長： 職員で「図書館構想」をもう一度練り直していただきたいと思います。委員の方にはメーリングリストで意見を交換していただき、そして職員の立場から見た図書館と協議会委員の考える図書館についての意見を調和させていくことが必要ですね。

では、次の議題、図書館の愛称募集についてです。ご覧のとおり 17 通の応募がありましたが、ご意見はいかがですか？

委員： 「いけぶらりー」はなかなか良い発想ではないですか？

委員： 語呂が口に出して言いづらいです。

委員： 「丘の上の図書館」は、あの坂の上ホテルみたいで仲々いいのでは？

委員： たまたまなんだろうが、2票入ったのは大きいですね。

<…等の意見があり、協議の結果「丘の上の図書館」に決定>（後、抽選で1名決定）

会長： では、次に図書館まつりの報告について、松本委員より報告をお願い致します。

<松本委員より報告>

委員： オープンカフェは予想以上に盛況で、普段から憩いのスペースも必要かと思いましたがね。

委員： 市民に楽しんでもらえたとし、図書館協議会のPRにもなり、意義のあるものになりました。

委員： 売上金は何らかの形で図書館に還元するということにしたらどうでしょうか。

<全員賛同>

会長： では、これで全ての議題について審議しましたが、他に何かございますか。ないようですので、次回は2月16日（土）10:00からでよろしいですか。「図書館構想」についてのご意見はメーリングリストで、1月11日までと期限を切りたいと思います。活発にお願いします。それを参考に図書館としては2月16日までに報告をまとめ直してください。以上です。